

平成27年度 学校評価実施報告書

学校名(西京極中学校)

3 2回目評価

・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定					・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理	自己評価	学校関係者評価		
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	評価日	平成28年3月1日	評価日	平成28年2月26日	
					評価者・組織	運営委員会	評価者(いずれかに○)	学校運営協議会	
1 確かな学力	基礎的な学力の定着とわかる授業の創意工夫	校内での研究授業 教科会の充実 委員会主催の研修参加	基礎的な学力が身についていますか。先生はわかりやすい授業を工	「わかりやすい授業を目指した工夫が行われている」と回答している保護者・生徒が多い。	⇒	アンケート結果から、「家庭での学習習慣」や「読書習慣」の定着が本校の課題となっている。本校の生徒のスマホの所持率は全国平均よりも4.4ポイント高く、1日の使用時間2時間以上の生徒が全国より11.2ポイント高い。1日3時間以上使用する生徒は26%、4時間以上が12.3%もいる。携帯電話の使用時間を減らせば家庭学習や読書の時間の確保ができるそうだ。	学校便りや学年便りで西京極中学校の現状を保護者に知りたい。家庭学習や読書の大切さを再認識してもらう。また道徳や学活など様々な場面で継続した指導を徹底していく。	⇒	・生徒の携帯電話の使用時間を減らすのは保護者の役目で、学校の力だけでは限界がある。 ・携帯電話の使用時間やテレビを見る時間が減少すれば、読書や学習に時間を費やすのでは…?
	家庭での学習習慣の定着	1・2年生は毎週金曜日 全員に週末課題を配布し、月曜日に回収	平日1日あたりどれくらいの時間、家庭学習をしていますか。	家庭での学習習慣は保護者・生徒もできていないと回答している生徒が多い。	⇒	・体験活動や様々な行事の場面で、自らの言葉で表現する場を充実させる。 ・生徒の言葉遣いが悪い場合は教職員がその場ですぐに指導する。 ・教育相談等で生徒が教職員に相談しやすい環境をつくる。	⇒	・学校運営協議会の活動と学校教育活動の関連付けを理事会でも考えていきたい。 ・地域の方に協力をいただき、大人と中学生との「しゃべり場」を設け、地域と密着した関係を構築する。	
	読書の習慣化	朝読書の実施と図書館の有効利用。各社新聞を2ヶ所に置きいつでも	平日1日あたりどれくらいの時間、読書をしていますか。	「読書の習慣が身についていない」と回答している保護者・生徒がほとんどである。	⇒	・豊かな心	⇒	⇒	
2 豊かな心	あいさつや正しい言葉使いの徹底	朝の校門指導 生徒会からの呼びかけ	あいさつや正しい言葉遣いができますか。	「生徒は正しい言葉遣いができる」と回答している生徒が半数だが保護者は逆の考え方である。	⇒	アンケート結果から、生徒は「あいさつは出来ている」と答えている生徒が大多数だが、教職員は逆の回答を示している。「時間を守って行動する」という項目に関しては生徒は重要度も実現度もすごく高い意識を示している。また「自分や他人の人の人権を大切にしている」と項目の実現度は保護者も生徒も高い数値を示している。教職員は人権意識の向上のための取組はまだ十分である、と回答している。	・豊かな心	・学校運営協議会の活動と学校教育活動の関連付けを理事会でも考えていきたい。 ・地域の方に協力をいただき、大人と中学生との「しゃべり場」を設け、地域と密着した関係を構築する。	
	生徒が教師に相談できる環境づくり	教育相談の実施	困ったことがあれば先生に相談できますか。学校は相談しやすい環境ですか。	保護者の多数は「学校は相談しやすい環境である」と回答しているが生徒は逆の見解を示している。	⇒	・豊かな心	⇒	⇒	
	自分や他人の人権を大切にしようとしている	道徳の授業や人権学習の指導の徹底	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	本校の9割近い生徒が学級や学年の集団の中で「人権を大切にしよう」とする意識がある。	⇒	・豊かな心	⇒	⇒	
3 健やかな体	体育の授業や部活動指導の充実	体育の授業の充実ときめ細かな部活動指導の徹底	部活動の参加率	今年度5月現在の体育系の入部率72%、文化系入部率15%、計87%の生徒が入部している。	⇒	本校は生徒指導上、比較的落ち着いた状態を保っている。現状を維持し、更に向上させるための継続した指導を続けたい。	本校は生徒指導上、比較的落ち着いた状態を保っている。現状を維持し、更に向上させるための継続した指導を続けたい。	生徒の心身の発達を図るために、運動だけではなく、食教育や安全教育の充実を図る。	
	ゲストティーチャーを招いての講座開設	1・2年生は「非行防止教室」3年生は「薬物乱用防止教室」「性教育講座」の実施	万引きや薬物使用はなぜ犯罪なのか。	触法行為の未然防止の啓発や健全育成の向上を目指す。	⇒	・小中合同研修会をはじめ4校が忌憚のない意見交流を交わすことができた。 ・管理職や教務主任の定例会議も充実した内容だった。	・小中合同研修会をはじめ4校が忌憚のない意見交流を交わすことができた。 ・管理職や教務主任の定例会議も充実した内容だった。	地域の一員として中学生が活躍できるような場をできるだけ設定する。	
4 独自の取組	小中一貫教育の推進	月に一度の4校校長会 月に一度の4校校長会 夏季小中合同研修会	小中の連携は組織的に機能していますか。	きめ細かな連携や協力体制ができている。	⇒	・中1ギャップが言われているが、小中が9年間のスパンで目指す子ども像を考える。夏季休業中に小中合同研修会を持ち、西京極中学校区小中一貫教育の在り方について検討する。	西京極中学校区、4校が更なる連携を図り、中学校が地域から更に信頼を得て、地域のシンボル的な存在になってほしい。		
	NIE実践推進の校の取組	生徒が各社の新聞を読むことができる環境づくり	新聞を読む習慣はありますか。	新聞を読む生徒は全国、京都府を上回る。	⇒	⇒	⇒	⇒	

4 総括・次年度の課題

- ・本校の課題である学力向上に向けたさらなる取組の充実を図るため、授業改善方法や週末課題の継続、各教科の研修会への参加など教職員に促していく。
- ・本校の課題である家庭学習の不足と、生徒の携帯電話の使用時間の長さの因果関係を考え、学校から保護者の方にも「学校だより」や「学年だより」を通じて、改善のための協力を依頼していく。
- ・次年度に向けてアンケート項目が、学校教育目標と関連したものになっているかの点検が必要である。
- ・学校評価を通じ、保護者や地域の方に本校の教育活動について、より理解を深めていただくことができた。